



■2011年5月のマンスリーNEWS 第82号

■5月のアークル



今年もあと半月で半分が過ぎようとしています。例年であれば今頃夏場最盛期の準備で切り替えや商品のセッティングなどの準備で大忙しといった感じなのですが、今年は地震の影響で例年通りいかない年となってしまいました。夏場最盛期もたくさんの問題を抱えながら突入していくことは間違いなさそうです。

さて4月期は当社は売上げが昨年比に比べて結果的に非常に伸びました。理由は簡単なことで、他社の自販機の商品不足による売り切れ大量発生のおかげということ。当社のメインブランドであるDYDOはほぼ商品供給に於いては問題が無かったので、他社の売り損じ分を吸収した結果となったわけです。他社は商品不足と節電もかねてオールコールドへの切り替えをこの時期にやってしまったので、当社のホット商品の売上げ増はかなりのものでした。

しかし当社もその売上げ増をしっかりしたフォローで完全に拾えたかという点、必ずしもそうではありませんでした。感覚としては、思いもよらない時期に最盛期の状況を迎えてしまい、フォローが追いつかなかったといった結果でした。またサントリーも同様に売上げは伸びましたが、これはあくまでも自販機庫内の在庫がはけただけと言う感じで、出荷調整の影響は今月以降かなり出てくると思われまます。

さて3月11日の東北地震以降、数々の問題が起きて我々もその対応に追われ、大変な2ヶ月が経過したのですが、そんな中私達の自販機業界に激震が走る出来事が起こりました。皆さんももうご存知の石原東京都知事の発言です。

これほどの大きな問題は自販機のはみ出し設置問題以来ではないでしょうか。まさに自販機は社会悪と思われそうな状況に一時的になりました。しかし、「なんと浅はかな表面上しからとらえていない発言なんだ！」と私達業界人にとってはびっくりさせられるものでした。



石原知事 発言

福島第1原発の事故に伴い計画停電が実施されるなど深刻な電力不足に対し、パチンコ店と自動販売機の電力使用の無駄を指摘。

「自動販売機なんてやめちまえ。コンビニで買って家で冷やせばいいじゃない」「パチンコはジャラジャラと音を立てるために電気を煌々（こうこう）とつけるのは、世界中で日本だけだ」

パチンコ業界のことはともかく、我々飲料自販機業界にいる人間にとっては自販機業界の今までの電力削減の努力も知らずに、表面だけ見た自己中心的な発言に驚きを通りこして、怒りさえ覚えます。

世の中の自販機は2000年から実は増えていません。またここ10年で自販機の消費電力は半分以下になっています。つまり自販機の消費電力はこの10年で半減しているのです。また1998年以降の自販機はエコ使用と言って、真夏の昼に3時間冷却装置を止めるような設定になっています。このように自販機は進化し、電力削減も相当行われたきたのです。ただ、素人目に見て、街に自販機がそこらじゅうにあるという印象はあるかもしれません。

特に都内や首都圏では戸外の自販機は増えています。しかし、地方や田舎では自販機は減り続けているのが現実です。

また海外と比較して自販機が街中にあるのはおかしいということですが、逆を言えば海外では治安の問題で自販機をアウトに立てられないのではないのでしょうか。つまり自販機は治安の良さをベースにしたある意味日本の文化とも言えるのではないのでしょうか。

今回、石原知事は自販機とパチンコを電力削減の観点から悪者にしました。現在の日本で飽和感の無い業界なんてあるのでしょうか？どの業界も熾烈な競争をして飽和感にあふれています。たとえば、車やコンビニ、レストランなどもそうです。我々から言わせれば、その他の業界も規制しないのですか？と言いたいです。ましてや飲料自販機マーケットは2兆円市場になっています。これだけ大きな市場にはかなり多くの人に関連し従事していると思われます。見た目だけで、安易に発言することで、どれだけ大きな経済活動の妨げになるのかを、よく考えて発言してもらいたいものです。

■コラム

■先月の売れ筋商品

DYDO売れ筋ベスト5		SUNTORY売れ筋ベスト5		J T売れ筋ベスト5	
1位	ダイドーブレンドコーヒー	1位	ボス贅沢微糖	1位	ルーツインパクト微糖
2位	デミタスコーヒー	2位	ボスレインボーマウンテン	2位	ルーツインパクトマスターズ
3位	ブレンドスペシャル	3位	ボスカフェオレ	3位	ルーツプレミアムリッチ
4位	Mコーヒー樽	4位	ボス無糖ブラック	4位	ルーツクリーミーカフェ
5位	BC葉の茶朝摘み290	5位	ボスハーフ&ハーフ	5位	ルーツインパクトブラック

■コラム

■電気代が上がる??

橘玲氏の見解は・・・

5/14新聞各社は「福島第一原子力発電所の事故の賠償策を巡り、政府・民主党が3日、東京電力が負担する賠償金に充てるため、電気料金の値上げを容認する新たな仕組みを設ける方向で調整に入った」と報じました。

どうやら、福島原発事故のツケが電気代アップという形で我々に跳ね返ってきそうです。ただでさえ世界一高い電気料金なのに、さらに値上げされるのです。しかし国民の声は大ブーイング。簡単に考えると、東京電力の賠償金を「国民が肩代わりして賠償金を支払う」ということになるのです。

東京電力の会社組織や、役員の給与を知ると「なぜ我々がやつらの救済のために負担を負わなきゃいけないんだ？」っていう気持ちになります。東京電力の役員20名の年収合計は7億4千万

だそうで、なんと副社長が6名、常務取締役が8名もいるそうなんです。競争相手のいない独占企業でこれほどの大人数の役員が必要なのでしょうか？

さてこの問題でこのマンスリーでもしばしば取り上げる橘玲さんの見解はこうです。少し紹介しておきます。議論の前提として、東京電力は福島第一原発の安全管理に責任を負っているのだから、今回の事故が引き起こした風評被害を含むすべての損害に対して賠償義務があることは明らかだ。このような場合、資本主義社会では、会社法などの法律や金融市場のルールによって、誰が損失を負担すべきかを明確に定めている。今回のケースでは、賠償の原資は次のような順番で調達することになる。

1.東京電力は、第一に、保有する株式や不動産など、売却可能な資産をすべて現金化すべきだ。本社ビルや社宅など、キャッシュフローを産まない資産はすべて売却して賠償原資にすればいい（本社ビルなどはリースバックすればいい）。

2.役員報酬や社員の年取カットにとどまらず、整理解雇を含めたりストラによって経費を削減する。東京電力は今年度の新卒採用を中止したが、それよりも年取の高い中高年を整理解雇したほうが経費削減効果ははるかに大きい。

3.それでも賠償資金が足りない場合は、株式会社のルールに則って、株主が損失を負担する。すなわち会社更生法か民事再生法を申請して、株主責任を明確にする。

4.そのうえで、債権者に損失の負担を求める。東京電力の負債は約5兆円の社債と約2兆円の銀行融資だが、後者は原発事故発生後の緊急融資で、当時の状況を考えればなんらかの保証は必要だろう。だが5兆円の社債についてはこうした事情を斟酌する余地はなく、損害賠償額によっては全額デフォルトすべきだ。

5.当然のことながら、退職者への年金を含む他の債権も、事業の継続に支障を来たさない範囲で徹底的にカットすべきだ。

6.これだけのことをしてもなお資金が足りない場合、はじめて電気料金の値上げによって賠償負担を利用者に転嫁したり、増税によって納税者に転嫁することが正当化される。

風評被害を含む賠償総額はいまだ見当もつかないが、2~3兆円という試算もある。もしこれで収まるのならば、社債をデフォルトすれば賠償原資は確保できる。一般企業が債務不履行に陥れば事業の継続は難しくなるが、東京電力は地域独占で安定した利益を約束されているのだから、社債をデフォルトしても本業にはなんの影響もない。社債の利払いや償還に必要な資金を損害賠償にあてればいいのだから、原発事故による資金問題は本来であれば存在しない。そんなことをすれば新規の資金調達ができなくなるという意見もあるが、福島第一原発（あるいはすべての原発事業）を保有するバッドカンパニーと、それ以外の発電所・送電網を保有するグッドカンパニーに分割することでこの問題は解決できる。グッドカンパニーは原発リスクから切り離された超優良企業なのだから、バッドカンパニーへの負債や毎年の支払額を確定しておけば、社債を購入する投資家はいくらでもいるだろう。国内金融市場で資金調達できなければ、海外市場でファイナンスすればいいだけだ。

そもそも資本主義のルールでは、リスクは第一に、会社の所有者である株主が有限責任で負担することになっている。株主責任を問わないまま、債権者など他の利害関係者に負担を求めることは許されない。ところがこの国では、株主責任を不問に付したまま、利害関係者ですらない国民に増税や国債発行によって原発事故の賠償資金を負担させるという議論が当たり前のように行なわれている。

債券投資にリスクがあることは、投資家なら誰でも知っているはずのことだ。東京電力が多数の原子力発電所を運転していることは周知の事実で、原子力発電施設が危険なことはスリーマイルやチェルノブイリの事故で明らかなのだから、東京電力の社債を購入した投資家はこうしたリスクを承知していただはずだ。今回そのリスクが顕在化したのだから、社債のデフォルトによって損失を負担させるのが金融市場の大原則（プリンシプル）だ。このプリンシプルを否定して社債の保護を求めるのなら、そもそも金融市場に参加する資格はない。そのような主張をする金融機関や機関投資家は、さっさと廃業すべきだ。

「東京電力の社債を保護するのは金融市場を守るためだ」という政治家がいるようだが、これはとんでもない勘違いだ。投資家が自己責任を問われず、税金で損を穴埋めしてもらえるのなら、そんな国にまともな金融市場が生まれるはずはない。もちろんこれは、東京電力の株主や債権者にとって厳しい選択だ。だが彼らには、合法的にこうした負担を逃れる道が用意されている。

原子力損害賠償法では、異常に巨大な天災地変や社会的動乱による損害については電力会社の責任を免責する、との規定がある。官房長官は「安易な免責はあり得ない」と記者会見で政府見解を述べたが、日本は法治国家なのだから、法の解釈は政府ではなく司法が行なうべきだ。東京電力の所有者である株主は、原子力損害賠償法にもとづく免責を求めて裁判に訴えるよう、取締役会に指示すべきだ。取締役会がその指示に従わない場合は、自らの利益を守るために、現経営陣を解任すればいい。東京電力は私企業であり、政府の所有物ではない。

東京電力が日本政府を訴えれば、裁判の過程において、今回の原発事故の責任がどこにあるのかが明らかになるだろう。そもそも日本の原発事業は政治家、官僚、重電メーカー、大学（原子力専門家）、地方自治体などの利害によって進められてきた。彼らの責任を不問にしたまま、すべてのツケを支払わされるのは不当だと、東京電力は裁判で堂々と主張すればいい。

橘さんのこの意見、面白いのは最後のくだりです。そもそもこの原発事故の責任を明確にするために、東京電力が日本政府を訴えればいいと点。ただしこれも橘さんの理論でいくなれば、株主がどう判断するかということになるのでしょうかね。

■コラム

■激ウマ!B級グルメ情報 第41弾

富士市特集 日本一うまい駅弁&宝石ゼリー

富士宮のB級グルメイメージと言えばまず頭に浮かぶのが焼きそばですが、今回紹介するのはその隣町富士市のグルメです。

富士市は私達神奈川からは以外と近いのですが、これといった観光も無いため、とてもなじみが薄い気がします。東名や新幹線を通るだけといった感は否めないですね。駅周辺の商店街は地方にありがちな寂れたシャッター通りになっています。そういう意味では魅力のある街とは程遠い様相です。



そんな富士市のグルメ情報自体が以外と穴場だったりして・・・

今回は2つのグルメを取り上げます。

一つは日本一うまい駅弁(?) 巻狩弁当です。ちょっと大げさな表現かもしれませんが、本当に私はそう思うのです。普通駅弁を食べたあとに「美味しかったなあ〜!」と言えることなどあまりないと思います。

しかし!!この弁当はそこらの駅弁とは格が違います。

そしてもう一つ、それは宝石のような美しさを持つフルーツ専門店のフルーツゼリーです。ここはデパートの催事などにたまに出店しているようなので、知っている人も多いかもしれません。



「駅弁って今はデパートの催事ぐらいでしか買わないなあ〜」なんて感じている人は多いじゃないでしょうか。とても人気がある駅弁。例えば「いか飯」「かに飯」「ます寿司」そして「北海道海鮮弁当」などなど・・・聞いているだけ食べたくなります。これらの特徴は素材一本勝負だったたり、見た目の豪華さだったりします。しかしこのお

弁当は王道の幕の内です。幕の内はいろいろなおかずが食べれる反面、特徴がなく印象に残りません。左の写真を見てもわかる通りインパクトに欠けます。インパクトに欠けるといふ表現より、一言地味と言ったほうがいいかもしれません。

新幹線の駅で買える！巻狩弁当（富陽軒）1,100円

しかし見た目と美味しさが見事にまでマッチしないのがこの巻狩弁当なんです。実力はぴかー！

揚げ物など一切入っていない大人の幕の内弁当っていう感じで、手ごろさと高級感をかな備えている弁当ではないかと思えます。

日本人でよかったと思わせる駅弁なんです。私個人的にはホテルで出される高級幕の内弁当なんかよりもこれのほうが好きです。

一度お試しあれ！！！！

● 献立メニュー

鮭の柚子香焼き

笹がき信田巻

牛肉、猪もどきしょうが煮

玉子焼き

鶏の雉焼き

ちぎりこんにゃくの煎り煮

筍の古武士煮

しめじ茸旨煮

ふきの青煮

山葵茎旨酢漬け

茄子与一漬け

酢取りしょうが ゆかり御飯



パッケージもかなり地味です

販売場所：新富士駅構内 売店

TEL：0545-61-2835

杉山フルーツ店のフルーツゼリー



実はこのお店、当社のマンスリーでも何回か取り上げている「日本でいちばん大切にしたい会社」の本の中で紹介されているお店なんです。

見た目はさびれた商店街の中でがんばっている昔ながらのフルーツ店という装いです。しかしこのお店のフルーツゼリーは大人気でオープン直後から行列が出来、あっという間に売り切れしてしまうと言うのだからその人気はすさまじいものがあります。

私は半年前に一度ここへフルーツゼリーを買いに来ているのですが、ものが見事にすべて売り切れで空振りをしているのです。今回はそんなことに無いように少し早めに訪問。しかつりゲットしてきました。さてそのフルーツゼリーの実力はいかに・・・？

まず見た目が美しい、私は個人的に宝石ゼリーと名付けましたが、それくらい美しく女性はかなり引かれるものがあるのではないのでしょうか。

そして食べてみると・・・ジュレのようなやわらかいゼリーを想像していましたが以外にもゼリーはかため。そして圧巻はやはりフルーツです。すべてのフルーツは丁寧にカットしてあり、そのフルーツだけで食べても絶

店名：杉山フルーツ店

住所：富士市吉原2-4-3

対に美味しいだろうと思われるフルーツを使っています。

見た目の美しさと、フルーツの美味しさ、そう考えると贈答品にはぴったりという感じ
です。

これからの季節おすすめのスイーツです。
もしこのゼリーゲットしたい方は、早めの訪問が必須です。チャレンジしてみてください。

■コラム

■アークルの人達ブログ・絶好調連載中です!

ただいまブログは6名が更新中です。

- ・所長のブログ (小田原H所長)
- ・マネージャーの部屋へ
- ・つんつるてんSTORY
- ・販促課オオクワ80mm
- ・産地直送! 新鮮ネタ (海老名Nチーフ)
- ・パソオタの独り言 (パンドラの箱を開けて最後に出てくるのは・・・)



GWを迎え、今年も見事に咲いた小田原城址公園の藤の花

今月は以上です。又、来月号も宜しくお願いします。

■2011年度のマンスリーNEWS

➡	2011.04	アークル	マンスリーNEWS
➡	2011.03	アークル	マンスリーNEWS
➡	2011.02	アークル	マンスリーNEWS
➡	2011.01	アークル	マンスリーNEWS

■マンスリーNEWSアーカイブ

➡	最新	マンスリーNEWSトップページ
➡	2010年度	2010年のマンスリーNEWSアーカイブ
➡	2009年度	2009年のマンスリーNEWSアーカイブ
➡	2008年度	2008年のマンスリーNEWSアーカイブ
➡	2007年度	2007年のマンスリーNEWSアーカイブ
➡	2006年度	2006年のマンスリーNEWSアーカイブ
➡	2005年度	2005年のマンスリーNEWSアーカイブ
➡	2004年度	2004年のマンスリーNEWSアーカイブ
➡	番外編	マンスリーレポート番外編

